

安全データシート

改訂日:2021年4月1日

1. 製品及び会社情報

製品名	酢酸カルシウム水和物
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	CA0029

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 急性毒性(経口):区分5(UN) 区分外(JIS)

ラベル要素

絵表示又はシンボル
注意喚起語
危険有害性情報
注意書き

なし
警告
飲込むと有害のおそれ
【応急措置】
気分が悪い時は医師に連絡すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
河川に流出すると水中のCOD,BODが高くなる。

GHS分類に該当しない危険有害性

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名又は一般名	酢酸カルシウム水和物
化学式	$\text{Ca}(\text{CH}_3\text{COO})_2 \cdot \text{H}_2\text{O}$
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN:5743-26-0
濃度又は濃度範囲(含有率)	酢酸カルシウム水和物 98%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(2)-692

4. 応急措置

吸入した場合	直ちに新鮮な空気の所に移し、医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	汚れた衣類や靴等を脱ぎ、製品に触れた部分を水で洗い流した後、石鹼を用いて十分に洗浄する。
眼に入った場合	速やかに清浄な水で最低15分間の洗浄を行い、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	速やかに医師の手当てを受ける。意識がある場合には、食塩水等を飲ませて吐かせる。

5. 火災時の措置

消火方法	燃焼性はないが、酢酸ガスの発生のおそれあり。出来れば容器安全な場所へ移動する。不可能な場合は周辺に水をかけ冷却する。
適切な消火剤	泡、粉末、炭酸ガス
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
火災時の措置に関する特有の危険有害性情報	燃焼性はないが酢酸ガス発生のおそれがある。
特有の消火方法	該当情報なし。
消火を行う者の保護	消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。保護具を着用する。状況に応じて呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	流出したものの、又は洗浄した水が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉塵が飛散しない方法で空容器に回収し、水で十分洗浄する。
二次災害の防止策	該当情報なし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	高温多湿の雰囲気避け慎重に扱う。
局所排気・全体換気	局所排気装置を設置する。

安全取扱い注意事項		容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
接触回避		強酸との接触を避ける。
衛生対策		使用後はよく手を洗うこと。
保管		換気の良い冷所に、直射日光を避けて保管する。容器は密閉する。
安全な保管条件		ポリプロピレン
容器包装材料		
8. 暴露防止及び保護措置		
許容濃度		
管理濃度		未設定
日本産業衛生学会		未設定
ACGIH		未設定
設備対策		取扱いについては、できるだけ密閉化を行うか、局所排気装置を使用する。
保護具		
呼吸器の保護具		防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。
手の保護具		ゴム手袋を着用する。
目の保護具		ゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具		作業衣を着用する。
衛生対策		取扱後はよく手を洗うこと。
9. 物理的及び化学的性質		
物理状態		結晶又は結晶性粉末
色		白色
臭い		酢酸臭
融点・凝固点		該当情報なし。
沸点、初留点及び沸騰範囲		約160℃で分解
可燃性		該当情報なし。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		該当情報なし。
引火点		該当情報なし。
自然発火温度		該当情報なし。
分解温度		160℃以上
pH		該当情報なし。
動粘性率(粘度)		該当情報なし。
溶解度		水に可溶、クロロホルム、シクロヘキサンに不溶
n-オクタノール/水分配係数		該当情報なし。
蒸気圧		該当情報なし。
密度及び/又は相対密度		0.425(嵩比重)
相対ガス密度		該当情報なし。
蒸発速度		該当情報なし。
10. 安定性及び反応性		
反応性		該当情報なし。
化学的安定性		吸湿性で150℃で完全に結晶水を失い、徐々にアセトンと炭酸カルシウムに分解する。
危険有害反応性		該当情報なし。
避けるべき条件		日光、高温、多湿
混触危険物質		該当情報なし。
危険有害な分解生成物		アセトン
11. 有害性情報		
急性毒性	経口:	LD ₅₀ 4280mg/kg (UN区分5、JIS区分外)
皮膚腐食性・刺激性		皮膚に対して刺激性がある。(データ不足の為、分類できない)
眼に対する重篤な損傷・刺激性		眼に対して刺激性がある。(データ不足の為、分類できない)
呼吸器感作性又は皮膚感作性		該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性		該当情報なし。(分類できない)
発がん性		該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性-単回暴露		該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器・全身毒性-反復暴露		該当情報なし。(分類できない)
誤えん有害性		該当情報なし。(分類できない)

12. 環境影響情報

移動性
残留性／分解性
生体蓄積性
生態毒性
オゾン層に対する有害性

該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全でかつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号
品名(国連輸送名)
国連分類
容器等級
国内規制がある場合の規制情報
陸上輸送
海上輸送
航空輸送
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策
応急措置指針番号

—
—
—
—
消防法の規定に従う。
船舶安全法の規定に従う。
航空法の規定に従う。
運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にを行う。
該当情報なし。

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
労働安全衛生法
消防法

指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物に該当しない。
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物に該当しない。
危険物に該当しない。

16. その他の情報

引用文献

16615の化学物質(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。